大久保産業株式会社

環境経営レポート

活動期間（2022 年 6 月～2023 年 5 月）

2023 年 11 月 13 日　発行

ごあいさつ

大久保産業は、昭和２年（1927 年）機械・工具専門商とし、創業以来お客様との信頼関係を基礎に顧客満足度の向上を最重点として堅実に時代の変化に対応し、着実に取り扱い分野を増やして「鉄の総合商社」として成長して参りました。

建設資材部門・産業資材部門・建築機材部門・工務部門・鉄工事業部門の５本の事業部門を柱として邁進してきました。

今後とも「快適生活空間の創造」をテーマに、時代をクリエイトする夢とそれにかけるパッションを抱き蓄積された実績を尚一層飛躍するべく努力を重ねています。

今一層の御愛顧を伏してお願い申し上げます。

大久保産業株式会社

環境経営方針

【基本理念】

大久保産業株式会社は、卸売業・小売業・建設業を通じて地域環境に配慮し、環境に優しい企業を目指します。

環境経営システムを構築・運用し、その行動をベースとし環境に優しい、環境適応企業を目指します。

【行動方針】

基本理念に基づく、以下の行動指針を定め、環境経営の継続的改善に積極的に取組みます。

1. エコアクション 21 の活動により、環境保全の継続的な改善を行い、当社の社会的責任を努めます。
2. 二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、排水量削減、化学物質使用量削減、グリーン購入、エコ商品の販売・施工に組織的に取組みます。
3. 建設リサイクル法、騒音・振動規制法等、当社に関係する法律を遵守します。
4. 従業員に環境教育を行い、環境に配慮できる人材育成に努めます。
5. この環境方針は、全社員に周知します。
6. 社会貢献活動の一環として清掃活動を行います。
7. 社会インフラ整備への貢献をします。

制定日 2009 年 10 月 1 日
改訂日 2020 年 9 月 23 日

大久保産業株式会社

代表取締役　大久保良治

事業所の概要

(1)　事業所及び代表社名
大久保産業株式会社
代表取締役　大久保良治

(2)　所在地
〒770-0942
徳島県徳島市昭和町 8-8

(3)　環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理統括責任者：代表取締役　大久保良治　　TEL：088-623-1315
環境管理責任者　：取締役会長　大久保重敏　　TEL：088-623-1311
FAX　088-654-8311　E-mail　y-ohkubo@ohkubo-s.co.jp

(4)　事業内容
卸売業・小売業（産業資材、建設資材、管工機材）
建設業：徳島県知事許可（特-03）第 1103 号
土木、建築、とび・土工、鋼構造物、塗装、舗装、機械器具設置、管、電気、屋根、内装仕上、消防施設）
機械加工業、クレーン点検・メンテナンス業

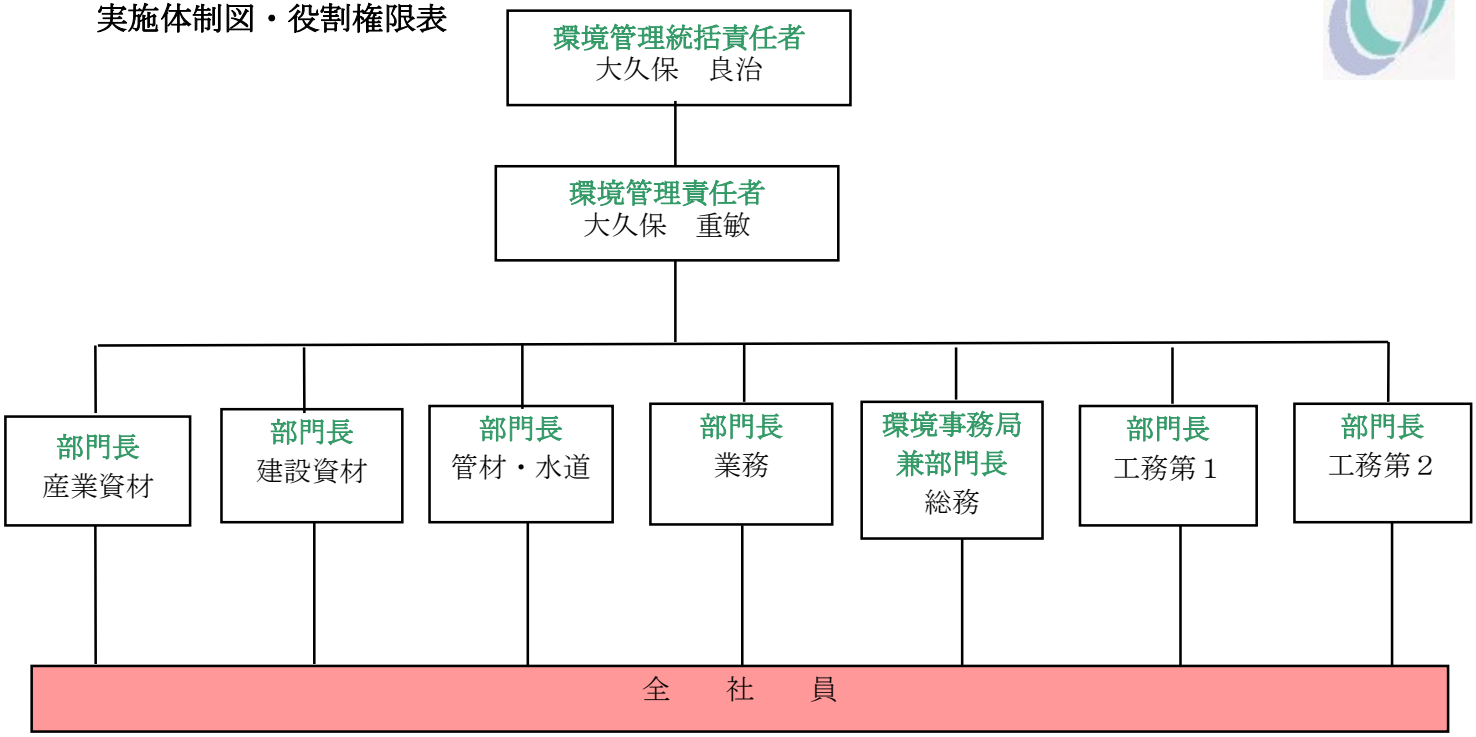
(5)　事業の規模

規模	単位	基準年 2017 年度	2021 年度	2022 年度
売上高	億円	87	88	100
従業員	人	85	102	100
床面積	㎡	916.45	916.45	916.45
倉庫・資材置場面積	㎡	2560	2560	2560

(6)　事業年度
2022 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日

● 認証登録の対象組織、活動
対象組織　大久保産業株式会社・倉庫
対象活動　卸売業・小売業（産業資材、建設資材、管工機材）
建設業：徳島県知事許可（特-03）第 1103 号
土木、建築、とび・土工、鋼構造物、塗装、舗装、機械器具設置、管、電気、屋根、内装仕上、消防施設）
機械加工業、クレーン点検・メンテナンス業

実施体制図・役割権限表



	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境目標の設定を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、ＥＡ２１推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境経営レポートの作成
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全社員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境目標及び環境活動計画

認証	作成
大久保　良治	敷島　慎也

【環境目標】

		2021年度 実績	2022年度目標 （前年比-0.5%）	2023年度目標 （前年比	2024年度目標 （前年比	2025年度目標 （前年比
炭酸ガス排出量		349,789	348,040	346,300	344,569	342,846
炭酸ガス排出原単位（CO2/売上）				36.35	34.53	32.80
内訳	電力	95,143	94,667	94,194	93,723	93,254
	ガソリン	65,667	65,339	65,012	64,686	64,363
	軽油	62,071	61,761	61,452	61,145	60,839
上水使用量		1,355	1,348	1,341	1,334	1,327
廃棄物排出量		136	135	134	133	132
内訳	一般廃棄物	68	67.5	67	66.5	66
	産業廃棄物	68	67.5	67	66.5	66
事務用紙使用量		2.4	2.3	2.29	2.28	2.27
清掃活動		8	8	8	8	8
化学物質使用量の把握		4	4	4	4	4
グリーン購入		6	7	8	9	10
エコ商品の拡販		10	10	11	12	13
環境配慮施工の提案		10	10	11	12	13

【環境実績】

		単位	2021年度実績	2022年度目標 （前年度実績-0.5%）	2022年度実績 2022/6/1～2023/5/31	2022年度達成率 2022/6/1～2023/5/31	
炭酸ガス排出量		kg-co_2/年	349,789	348,040	382,593	90.97%	△
炭酸ガス排出原単位（CO2/売上）		kg-co2/売上（百万）			38.26		
内訳	電力	kWh/年	95,143	94,667	100,414	94.30%	△
	ガソリン	L/年	65,667	65,339	75,101	87%	△
	軽油	L/年	62,071	61,761	59,966	103%	○
上水使用量		m^3/年	1,355	1,348	1,518	88.80%	△
廃棄物排出量		t/年	136	135	449	30.10%	×
内訳	一般廃棄物	t/年	68	67.5	68.5	98.50%	○
	産業廃棄物	t/年	68	67.5	380.5	17.70%	×
事務用紙使用量		t/年	2.4	2.3	2.4	95.80%	○
清掃活動		回/年	8	8	8	100%	○
化学物質使用量の把握		回/年	4	4	4	100%	○
グリーン購入		品目	6	7	6	86%	△
エコ商品の拡販		品目	10	10	10	100%	○
環境配慮施工の提案		件	10	10	10	100%	○

（四国電力　2021年度排出係数：0.533kg-co2/kWh）

◎	105%以上
○	95%～104%
△	80%～94%
×	80%未満

環境活動計画

活動計画	実施項目
①電力使用量の削減 • 夏場の冷房温度を下限26℃に設定する。 • 冬場の暖房温度を上限22℃に設定する。 • 照明機器、クーラー、窓の掃除を年2回実施する。 • パソコン、コピー機等を使用しないときは電源をOFFにする。 • 休憩時間は、工場及び現場・倉庫の消灯を実施する。 • 事務所の照明の不要時, 不在時の消灯の実施 • 緑のカーテンを作る • 照明のＬＥＤ化を進める • 遮熱塗料、遮熱フィルム、遮熱シートを設置する。	この温度設定の中で涼しく効果的に対応できる軽装の服装を着用する。 年2回お盆前と年末に実施する。 コピー機等の見やすい場所に2cm幅のシールを貼って標示する。 スイッチの部分に2cm幅のシールを貼って標示をする。 スイッチの部分に2cm幅のシールを貼って標示をする。 倉庫、事務所順次採用するよう検討する。 事務所、倉庫で設置出来ていない箇所への設置を検討する。
②燃料使用量の削減 • 社用車の燃費向上のため、経済的な運転を心掛ける。 • 今後の社用車の購入時には、ハイブリッドカーへの切替を進める。 • アイドリングストップを徹底する。 • 車載管理を徹底する。	急発進・急ブレーキ・低速走行の実施。 不要な荷物、カタログ等をつまない。
③上水使用量の削減 • 水道ホースの先に節水ノズルをつける。 • 節水マークをつけ意識の向上を図る。	こまめな切替をすることにより節水につなげる。 標示をする。
④廃棄物排出量の削減 • ゴミの分別を確実に行う。 • 産業廃棄物の分別と適正処理	廃棄物標識板の設置
⑤事務用紙の削減・訂正処理 • コピー紙の裏紙の再利用	コピー機の横に専用の箱を置く。
⑥清掃活動	月/1回　1時間程度会社の前を清掃する。
⑦化学物質使用量の削減	現在ＰＲＴＲ制度に該当する製品の製造・在庫についてはない。今後対象となる商品のチェックについてはＳＤＳで検証する。
⑧グリーン購入の推進	「特定調達品目」より２点以上を検討し毎年１点ずつ増やしていく。
⑨エコ商品の販売の推進	ユーザーに対してエコ商品の積極的な販売活動と情報提供を実施する。 ・遮熱塗料、遮熱フィルム、遮熱シート ・ＣＯ２コントローラー ・ＬＥＤライト 環境に有益な工法の提案を行う。
⑩その他の環境活動	協働の森事業への参加

環境活動計画と評価

期間：2022 年 6 月～2023 年 5 月

環境目標	主な活動計画の内容	達成状況	評価と次年度の取組内容
電力使用量の削減	夏場の冷房温度下限 26 度に設定する 冬場の暖房温度上限 22 度に設定する	目標：348,040 （Kg-CO_2 / 年） 実績：382,593 達成率： 90.97%	時々、設定限度を越えている。近くに標示して注意喚起する。
	照明機器、クーラー窓の清掃を年 4 回実施する。		外部業者に依頼して年４回エアコンの清掃を実施している。
	照明不要時、不在時の消灯を実施		消し忘れがあるため当番制を実施する表示板を設置する。
燃料使用量の削減	社用車の燃費向上のため経済的な運転を心掛ける。		全体的にはできている。人数増加のためガソリン使用量も増加。
	ハイブリッドカーへの入れ替えを推進する		社用車は現在９０台のうち５０台がハイブリッドカーである。
	車両の軽減（不要な物は積まない） アイドリングストップの実施		何度も見回りして注意しているので荷物は減ってきている。
上水使用量の削減	水道ホースの先に節水ノズルをつけ、余分な水を使用しない	目標：1,348 （m^3 / 年） 実績：1,518 達成率： 88.8%	上水使用量の削減目標は達成できなかった。従業員数の増加のせいにしていては改善できないので意識の向上を図る。
	節水マークをつけ意識の向上を図る		
廃棄物排出量の削減	ゴミの分別を確実に行う 社外からゴミくず、不要物を持ち込まないよう業者に呼びかける	目標：135 （t / 年） 実績：449 達成率： 30.1%	工事の産業廃棄物が多かった。前年は少なすぎたので、目標の立て方を再資源化率等に変更した方がいいのかもしれない。
事務用紙使用量の削減	事務用紙の使用量を削減する	目標：2.3 （t / 年） 実績：2.4 達成率： 95.8%	紙ベースの資料を減らし、アイパッドやメールを積極的に活用していく。

清掃活動	年８回ボランティア活動として決まった場所の清掃活動をしている	目標：8 実績：8 （回 / 年） 達成率：100%	参加者を増やしていく
化学物質使用量の把握	３ヶ月に１回のチェック	目標：4 実績：4 （回 / 年） 達成率：100%	年４回（2 月、5 月、8 月、11 月）のチェックはできている。また新しく該当する商品については追加することを忘れないこと
グリーン購入	「特定調達品目」の検討	目標：7 実績：6 （回 / 年） 達成率：86%	グリーン購入品をリストアップし、点数を増やすことを検討する（消耗品など）
エコ商品の拡販	積極的な販売活動と情報提供	目標：10 （回 / 年） 実績：10 達成率：100%	省エネ商材については、ユーザーに対し提案していく。
その他	協働の森事業への参加	現在、徳島県森林づくり推進機構の「協働の森事業への参加」に積極的に参加している。	

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法令又は条例	適用される事項	遵守状況の確認
廃棄物処理法	・一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票（マニフェスト）の運用	書類の確認 問題なし
労働安全衛生法	・解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業 ・「石綿等の除去作業（封じ込め、囲い込み作業含む）	該当なし
リサイクル法	・解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事 ・指定副産物	書類の確認 問題なし
再生資源利用省令	・解体工事、土工事、外構工事 ・指定副産物：建設発生土、コンクリート塊、アスファルトの利用	該当なし
建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化等	問題なし
家電リサイクル法	・特定家庭用機器の排出（作業所の家電が対象） ・特定家庭用機器（ｴｱｺﾝ、冷蔵庫）	書類の確認 問題なし
建設廃棄物処理指針	・産業廃棄物の処理、委託	書類の確認　問題なし
建設副産物適正処理推進要綱	・建設副産物が発生する建設工事	書類の確認　問題なし
建設物の解体等に係わる石綿飛散防止対策マニュアル	・解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業等 ・建築物の解体等の石綿飛散防止	該当なし
オフロード法	・ブルドーザ、クローラクレーン、くい打ち機、タワークレーン、ドリルジャンボなど ・協力会社の持ち込み建設機械など	書類の確認 問題なし
排出ガス対策型建設機械普及推進規定	・国土交通省直轄工事及び県工事（特記仕様書） ・協力会社の持ち込み建設機械など	書類の確認 問題なし
騒音規制法・振動規制法	・杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業 ・特定建設作業・適用指定地域	書類の確認 問題なし
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	・国土交通省、農林水産省直轄工事 ・地盤改良工事	該当なし
消防法	・少量危険物の取り扱い ・火気の使用	書類の確認 問題なし
グリーン購入法	・環境負荷の低減に資する物品・役務（環境物品等）	書類の確認 問題なし
地方自治体の各条例	・条例に従う	書類の確認　問題なし
フロン排出抑制法	・簡易点検：3か月に1回以上 ・定期点検：1年に1回以上等（専門業者が実施） ・点検・整備の記録	点検・整備確認 問題なし

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はなかった。

また、過去4年間にわたって違反や訴訟もなかった。

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SDGs No.	項　目	当社対象有無	備　考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育

代表者による全体の評価と見直し記録

■定期見直し（事業年度終了後）

実施日： 2023年7月1日

環境管理責任者
大久保良治

見直しに必要な情報

管理責任者の報告及び改善への提案

[取り組み状況の評価結果]

①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規順守記録による）

2023年5月31日に評価を実施した結果順守されている。目標達成率80％未満の時は問題点としてとりあげる。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況

産業廃棄物の排出量が請け負った工事によっては多くなってしまう。再資源化率を向上させる余地はある。

[目標・環境活動計画の達成状況]（詳細は環境活動計画書による）

目標項目	目標値 達成状況	コメント （目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント）
電力使用量の削減	△	換気のせいで空調効率が悪くなっている。他のところで削減する等して努力する。
燃料使用量の削減	△	毎年ハイブリッド車の採用を促進する。削減意識を持ってもらうように啓発する。
上水使用量の削減	△	削減意識を持ってもらうように啓発する。
廃棄物排出量の削減	×	再資源化率が上がるように設計の段階で提言してもらう。
事務用紙の削減	○	裏紙使用、ペーパーレスの徹底が必要
清掃活動(社外)	○	人員確保のため前もって相談し協力体制の強化が必要

＜改善への提案＞

電力使用量についてはまだコロナ対策として換気を重視しているため空調効率は悪いが、ミスがないように注意を払うなどの努力が必要である。

燃料や上水の使用量削減については従業員の意識向上が必須なので啓発活動をする。

廃棄物排出量については、請け負う工事によって廃棄物が多くなるのは仕方がないので再資源化率を上げる努力をする。

代表者による見直し　　変更の必要性の有無・指示事項

[環境方針]　　変更の必要性：　□有　■無

社会インフラ、老朽インフラ補修事業に対し提案していきましょう。

[目標・活動計画]　　変更の必要性：　□有　■無

遮熱シート、CO2コントローラー等、省エネ商材をお客様に対し積極的に紹介してください。

作業環境の改善などに役立つことを提案してください。